

# 令和 3 年度 学校関係者評価書

学校名	宇陀市立榛原小学校
評価者名	日樫 宗久 藤本 和之 新堂 昇子
実施日	令和 4 年 2 月 2 8 日(月)

大項目	中項目	達成状況・取組状況について	取組の適切さについて	改善方策について
I 教育活動に関するもの	(1) 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>一斉授業での学習形態が定着している。</li> <li>あいさつ運動に取り組んでいるが、「自ら進んで気持ちの良いあいさつを」という目標が達成しきれていない。相手から挨拶されれば、返すことはできている。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響で、体育的な行事が削減されたが、普段の授業や休憩時間等で内容を工夫しながら体力向上の取組を進められたことができた。</li> <li>教材教具の工夫をしながら、個に応じた支援を行い、細やかな指導ができた。</li> <li>毎月1回、人権を確かめ合う日を設定し、テーマを決めて人権学習に取り組んだ。学級では、定期的に人権学習や取組を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを効果的に活用した授業が行われ、同一学年内で連携のとれた同じような取組がなされている。</li> <li>あいさつ・返事、履き物揃え、掃除・廊下歩行等、規範意識を高めるためには必要である。</li> <li>体育的な行事は制限されたが、授業や休憩時間等を活用して体力向上の取組が必要である。</li> <li>体力づくりは、病気等の予防にもなり、健康面においても重要な取組である。</li> <li>一人一人の個性や特性を理解し、実態に応じた指導が児童の成長につながっている。</li> <li>毎月1回、人権教育全般にわたり、地域の実情や児童の実態に応じていろいろと工夫され、実践されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインが定着している。これまでの授業作りを継続し、さらなる工夫をしながら学力向上に取り組んでほしい。</li> <li>あいさつ運動の継続をお願いしたい。目標に向けての職員間の共通理解と児童への意識付けが必要である。</li> <li>履き物揃えは根気よく、徹底した取組が必要である。少しずつ定着してきていると思う。</li> <li>実施内容に工夫を加えながら、さらなる体力向上に取り組んでほしい。</li> <li>新型コロナウイルス感染症防止対策はできている。各自の自覚が大事である。</li> <li>個に応じた指導体制の工夫が必要である。</li> <li>人権意識や規範意識の高揚を目指し、引き続き、一人一人を大切に取組を進めていただきたい。</li> </ul>
	(2) 生徒指導			
	(3) 健康・体力向上			
	(4) 特別支援教育			
	(5) 人権教育			
II 学校経営に関するもの	(1) 組織運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>若手教員が増えてきたが、校務組織について、経験や能力等のバランスがうまく調整されている。</li> <li>GIGAスクール構想に伴い、職員が各種の研修に積極的に参加している。</li> <li>避難訓練、不審者対応訓練、児童引き渡し訓練等、安全教育を計画的に行っている。</li> <li>保健だより等で感染症対策を知らせるなど、児童の健康安全に対して積極的に取り組んでいる。校内の感染症防止対策も充実している。</li> <li>Web情報発信等は、定期的に発信され、学校の様子が分かりやすいものになっている。</li> <li>地域の見守りも充実し、登校の安全が図られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修や会議等を適切に開催し、効率よく学校運営がなされている。</li> <li>タブレット端末の効果的な活用に向けて、研修を深め、研修した内容を実践している。</li> <li>不審者対応の学習や地震時等の児童引き渡し訓練は、必要かつ適切な取組である。</li> <li>新型コロナウイルス感染症防止対策が徹底され、校舎内の随所に啓発する内容の掲示が見られる。</li> <li>図書館ボランティアを募集するなど、保護者の協力を得ながら学校運営がなされている。</li> <li>保護者はもとより、まちづくり協議会や青少年健全育成協議会等の地域との連携が図られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>若手教員の育成とともに中堅教員の活躍に期待したい。</li> <li>タブレット端末を活用した内容の研修が増えてくると思うが、効果的な活用方法を模索し、授業や家庭学習に役立てていただきたい。</li> <li>避難訓練や安全教育については、今年の反省をふまえ、より改良を加えて実施してほしい。</li> <li>安心、安全で過ごしやすい学校環境作りを行い、児童の健康管理に努めていただきたい。</li> <li>開かれた学校づくりを目指して、今後も学校の情報をどんどん地域に発信してほしい。</li> <li>新型コロナ感染症が収束すれば、「給食試食会」「文化鑑賞会」等、可能な範囲内で保護者のみでなく地域住民も参加できる機会があればいい。</li> </ul>
	(2) 研究・研修			
	(3) 危機管理・安全管理			
	(4) 保健管理			
	(5) 保護者・地域との連携			

【その他学校に対する意見】

- 地域に根ざした開かれた学校として、地域住民に学校・児童の様子を多く発信してもらいたい。
- コロナ禍ではあるが、学校行事や学習活動等、方法や内容を工夫して、できることをできる範囲内で実施してもらいたい。
- 引き続き、安心、安全で楽しく学べる学校環境づくりに取り組んでいただきたい。